

令和6年度

# 文化庁活動改革（部活動の地域に向けた実証事業等）

地域文化クラブ活動への移行に向けた実証事業

## 東京都板橋区

自治体名：東京都板橋区

担当課名：教育総務課

電話番号：03-3579-2261

# 1.自治体の基本情報



## 基本情報

|                        |                       |
|------------------------|-----------------------|
| 面積                     | 32.22 km <sup>2</sup> |
| 人口                     | 578,456 人             |
| 公立中学校数                 | 22 校                  |
| 公立中学校生徒数               | 9,350 人               |
| 部活動数                   | 306 部活<br>(文化部：126)   |
| 市区町村の協議会・検討会議等の設置状況    | 設置済                   |
| 市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況 | 策定済                   |

## 地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

現在、板橋区では126の文化部活動が活動している。本区において、少子化の影響はあまり顕在化していないが、学校間の部活数の差が最大で13部もあり、一部の学校では団体種目などで部活動の停滞が既に起きている。

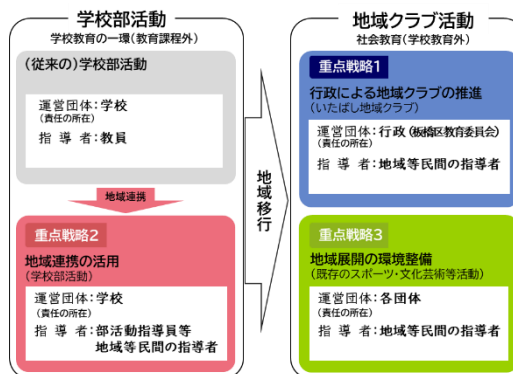
また、令和5年度に教員を対象として実施したアンケート調査では、約8割の教員が部活動の顧問として負担を感じていると回答。教員の献身的な支えによる学校部活動の維持には限界があり、持続可能性が低下している状況である。

そこで、部活動を持続可能な取組とするため、本区では、令和5年度に「板橋区立中学校部

活動地域移行検討会議」を設置し、2030年時点で実現したい将来像を設定する「板橋区立中学校部活動地域移行推進ビジョン2030（以下、地域移行推進ビジョン2030）」を策定。「行政による地域クラブの推進」「地域連携の活用」「地域展開の環境整備」を重点戦略として設定し、地域移行推進ビジョン2030と合わせて、改革推進期間である令和7年度までの「板橋区立中学校部活動地域移行実施計画2025」を策定。

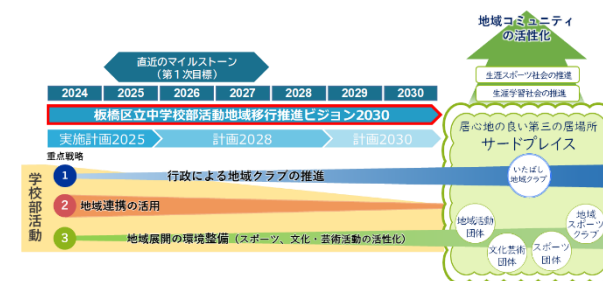
行政による地域クラブ「いたばし地域クラブ」を立ち上げ、令和5年5月より活動している。

### 学校部活動と地域クラブ活動の比較



出典：板橋区立中学校部活動地域移行推進ビジョン2030

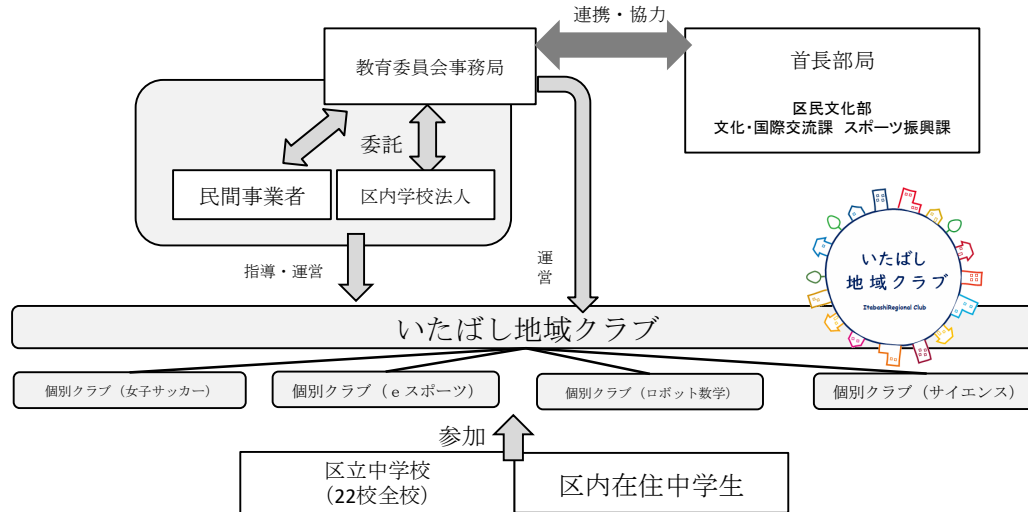
### 計画期間



出典：板橋区立中学校部活動地域移行推進ビジョン2030

## 運営体制・役割

### ●運営体制図（市区町村における推進体制図）



### ●行政組織内での役割分担

#### ◎教育委員会

- ・いたばし地域クラブの運営及びデータ・知見・課題の整理
- ・既存学校部活動のいたばし地域クラブ化に向けた調整
- ・機運醸成のための「部活動地域移行シンポジウム（以下、シンポジウム）」の開催

#### ◎首長部局

- ・区内スポーツ、文化芸術団体をはじめとした地域人材を活用した地域移行への枠組みの検討

## 年間の事業スケジュール

令和6年4月

- ・「板橋区立中学校部活動地域移行推進ビジョン2030」を各校に配布
- ・いたばし地域クラブの参加者募集
- ・いたばし地域クラブ保護者説明会

令和6年5月

- ・いたばし地域クラブ活動開始（令和6年度新規加入者）
- ・板橋区立中学校部活動の実態調査（学校向け）

令和6年6月

- ・第1回いたばし地域クラブアカデミー実施

令和6年7月

- ・第1回シンポジウム

令和6年9月

- ・第2回いたばし地域クラブアカデミー実施

令和6年11月

- ・第2回シンポジウム

令和7年1月

- ・第3回いたばし地域クラブアカデミー実施

- ・令和7年度に向けた保護者説明会

令和7年2月

- ・第3回シンポジウム

- ・いたばし地域クラブ体験会（小学6年生対象）

令和7年3月

- ・「いたばし地域クラブ」参加者アンケートの実施
- ・事業完了報告書・成果報告書等の作成

## 2.実証内容と成果

### 地域文化クラブ活動の運営実績

#### ①全体に関すること

|          |  |             |      |
|----------|--|-------------|------|
| 中学校数     | 22校  | 実施した地域クラブ総数 | 3クラブ |
| ケース別クラブ数 | A：部活動を地域移行した形のクラブ数（及び移行された部活動数）              |             | 1クラブ |
|          | B：部活動を移行する形態ではない地域クラブ（新たな種目のクラブを新規に創設するケース等） |             | 2クラブ |
| 全体の指導者数  | 12人  | 全体の運営スタッフ数  | 5人   |

#### ②各クラブに関すること

| クラブ名      | 運営団体種別   | 種目<br>※新規のものは末尾に（新）を付ける | 実施回数 | 実施時間帯               | 参加者<br>(学年別)            | 実施期間 | 活動場所                   | 指導者数 | 運営スタッフ数<br>(他クラブと兼務) | 会費            | 大会参加方法 |
|-----------|----------|-------------------------|------|---------------------|-------------------------|------|------------------------|------|----------------------|---------------|--------|
| eスポーツクラブ  | 民間事業者運営型 | eスポーツ<br>(新)            | 週1回  | 16:30<br>～<br>18:00 | 9年 5名<br>8年12名<br>7年14名 | 通年   | CLARK<br>NEXT<br>Tokyo | 4人   | 2人<br>(内、兼務0人)       | 月会費<br>2,000円 | 地域クラブ  |
| ロボット数学クラブ | 民間事業者運営型 | ロボット数学<br>(新)           | 週2回  | 日による                | 9年 1名<br>8年 7名<br>7年 7名 | 通年   | オンライン<br>または区立中学校      | 5人   | 1人<br>(内、兼務0人)       | 月会費<br>2,000円 | なし     |
| サイエンスクラブ  | 民間事業者運営型 | 自然科学                    | 週1回  | 17:00<br>～<br>18:30 | 9年 0名<br>8年 3名<br>7年 9名 | 通年   | 区立教育科学館<br>または区立中学校    | 3人   | 2人<br>(内、兼務0人)       | 月会費<br>2,000円 | なし     |

#### ③その他、体験会やイベント等の開催実績

- いたばし地域クラブ体験会

## 2.実証内容と成果

### 主な取組例

#### ●いたばし地域クラブ（eスポーツクラブ） 活動概要

|                 |  |
|-----------------|--|
| 地域クラブ活動で実施した種目  | eスポーツ                                    |
| 運営団体名           | 板橋区教育委員会                                 |
| 期間と日数           | 通年<br>週1回程度                              |
| 指導者の主な属性        | 委託先職員                                    |
| 活動場所            | 学校法人創志学園クラーク記念国際高等学校<br>CLARK NEXT Tokyo |
| 主な移動手段          | 公共交通機関                                   |
| 1人あたりの参加会費等（年額） | 24,000円                                  |
| 1人あたりの保険料       | 約798円/年（一括契約）                            |

#### ●運営体制図（地域クラブ活動を実施する際の運営体制図）



#### ●指導者や運営スタッフなどの役割分担等

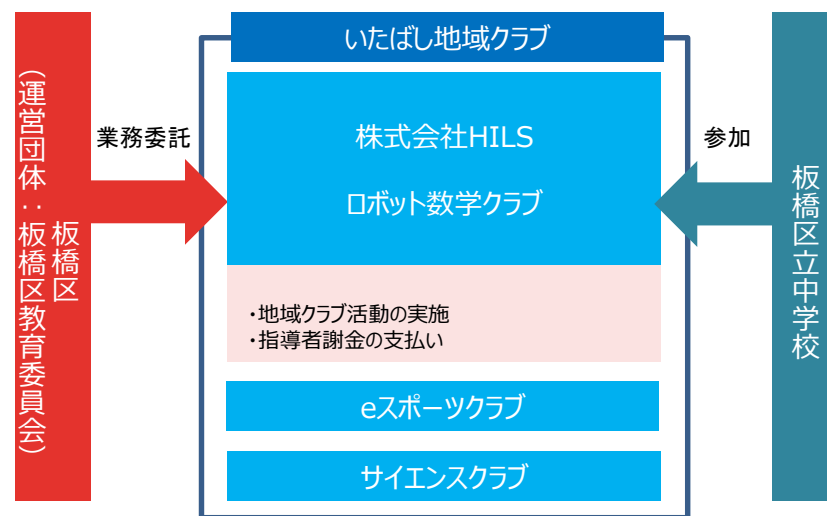
- 統括責任者  
役割：運営団体（区教委）との調整、活動報告を行う
- 指導者 4名  
役割：生徒への指導を行う
- 運営補助者 1名  
役割：活動において、出欠確認等生徒への指導以外の庶務を行う

## 主な取組例

### ●いたばし地域クラブ（ロボット数学クラブ） 活動概要

|                 |  |
|-----------------|--|
| 地域クラブ活動で実施した種目  | ロボット数学                                 |
| 運営団体名           | 板橋区教育委員会                               |
| 期間と日数           | 通年<br>週2回程度                            |
| 指導者の主な属性        | 委託先職員                                  |
| 活動場所            | ・オンライン<br>・板橋区立板橋第一中学校<br>・板橋区立赤塚第二中学校 |
| 主な移動手段          | 公共交通機関                                 |
| 1人あたりの参加会費等（年額） | 24,000円                                |
| 1人あたりの保険料       | 約798円/年（一括契約）                          |

### ●運営体制図（地域クラブ活動を実施する際の運営体制図）



### ●指導者や運営スタッフなどの役割分担等

- 統括責任者
  - 役割：運営団体（区教委）との調整、活動報告を行う
- 指導者 5名（活動時2名）
  - 役割：生徒への指導を行う

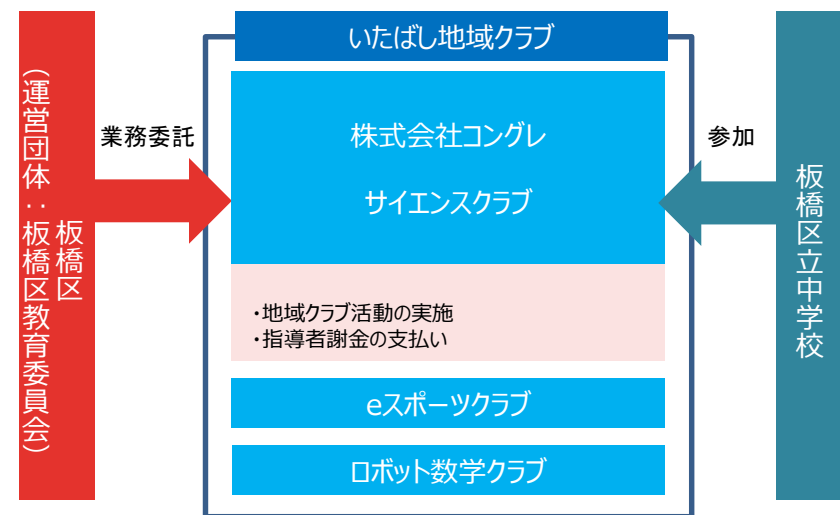
## 2.実証内容と成果

### 主な取組例

#### ●いたばし地域クラブ（サイエンスクラブ） 活動概要

|                 |                            |
|-----------------|----------------------------|
| 地域クラブ活動で実施した種目  | 自然科学                       |
| 運営団体名           | 板橋区教育委員会                   |
| 期間と日数           | 通年<br>週1回程度<br>※2会場に分かれて実施 |
| 指導者の主な属性        | 委託先職員                      |
| 活動場所            | ・板橋区立教育科学館<br>・板橋区立志村第四中学校 |
| 主な移動手段          | 公共交通機関・自転車                 |
| 1人あたりの参加会費等（年額） | 24,000円                    |
| 1人あたりの保険料       | 約798円/年（一括契約）              |

#### ●運営体制図（地域クラブ活動を実施する際の運営体制図）



#### ●指導者や運営スタッフなどの役割分担等

- 統括責任者  
役割：運営団体（区教委）との調整を行う
- 指導者 3名  
役割：生徒への指導を行う
- 運営補助者 1名  
役割：活動報告等、諸事務を行う

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

##### 取組事項

○令和5年度に実践研究モデル事業として実施した「いたばし地域クラブ」を本格実施とし、部活動地域移行の課題・地域クラブ活動の運営にあたっての課題を着実に把握・検討すると同時に、中学生の活動の受皿となり、活動機会を確保する。

##### 取組の成果

○行政が運営団体となり「いたばし地域クラブ」を運営し、令和6年度は3つの文化地域クラブを実施した。

- ・eスポーツクラブは区内の高校に指導運営を委託しているが、当該校の生徒も指導に自主的に携わってくれたことにより中学生同士だけではない異年齢交流につながった。
- ・2年目（実証事業としては1年目）に入ったロボット数学クラブは下級生の入会により会員同士で教える関係が生まれた。
- ・新しく創設したサイエンスクラブは主体的に研究テーマを選択し、研究・発表を行う活動を中心として実施しているが、当初は各人が研究テーマを選択することに時間を要したため、次年度に向けて改善を図る。
- ・令和6年10月まで納付書払いによって行っていた会費の徴収を口座振替にすることで、保護者の負担を軽減することができた。
- ・これまで個別クラブによって、導入の有無を含め分かれていた運営管理システムを、令和7年度より統一の運営アプリを利用することになった。

##### 今後の課題と対応方針

- それぞれのクラブが順調に活動運営をできた一方で、どのクラブも定員を満たしていないことが課題となっている。また、中学生をはじめとした区民にまだまだ認知されていない状況であるため、広報プロモーション活動により力を入れて取り組む。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

**イ：指導者の質の保障・量の確保**

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保

##### 取組事項

○指導の質を一定に保ち、体罰やハラスメントを防止する。特に、区が運営団体となる「いたばし地域クラブ」においては、定期的に区職員が視察し、不適切な指導がないかを確認するとともに、適切な指導方法を研究していく。

○部活動や地域クラブ活動の指導者が指針とするものとして、東京都の「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン」があるが、指導者の適性を担保するための研修内容について研究を行う中で、「いたばし地域クラブ指導ガイドライン（仮称）」の策定を検討する。

また、令和6年度より部活動指導員の人数を3名から44名に増員するため、部活動指導員も合わせての研修を検討する。

##### 取組の成果・今後の課題と対応方針

○いたばし地域クラブにおいては、区職員が定期的に視察し、指導者やスタッフとの意見交換を行うことで課題の整理に努めた。

また、委託事業者と定期的に意見交換を行い、改善を図ってきた。

●「いたばし地域クラブ指導ガイドライン（仮称）」については、現在指導運営業務を委託していることもあり、早急に策定する必要がなかったことから、策定に至っていない。文化クラブではなくスポーツクラブだが、令和7年度より中学校野球部を全面的に野球クラブへ移行するため、区職員が積極的に関わりながら、指導者向け手引きやガイドラインの策定を改めて検討していく。

●現在指導運営業務を委託していることから、部活動指導員と合わせての研修は実施できていないが、上述のとおり引き続き検討を進める。

（部活動指導員への研修は7月31日に実施）

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
イ：指導者の質の保障・量の確保  
**ウ：関係団体・分野との連携強化**  
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実  
カ：参加費用負担の支援等  
キ：学校施設の活用等  
ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 ウ：関係団体・分野との連携強化

##### 取組事項

- スポーツ、文化芸術団体、保護者や教員と部活動の地域移行について共通理解を深め、機運を醸成する場として、「部活動地域移行シンポジウム」を開催する。
- 民間のスポーツ、文化芸術活動等を紹介するガイドブックを作成する。
- 中学生が安心して参加できるよう、適切な指導・運営の基準を定め、団体の登録・認証する制度の研究を進める。
- 上記の取組にあたり、スポーツ、文化芸術団体との協議、連携強化を積極的に行う。

##### 取組の成果・今後の課題と対応方針

- 部活動地域移行シンポジウムを開催し、多くの関係者と意見交換をする機会を得ることができた。部活動は学校が主体となってやるべきか、様々な立場や視点から意見交換をすることで、地域移行の必要性について理解を深めることができた。  
また、いたばし地域クラブ会員の保護者にもシンポジウムに参加いただき、いたばし地域クラブに子どもを参加させて良かったとの意見をいただくことができた。
- 民間のスポーツクラブ・文化芸術活動を紹介するデジタルガイドブックを作成し、区立中学校の生徒が使用する一人一台端末へ配信したが、紹介に至ることのできたクラブ等が少なく、今後順次増やしていく必要性を感じている。
- 団体の認証制度については、他自治体の先進事例を参考にし、今後研究を進めていく。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
イ：指導者の質の保障・量の確保  
ウ：関係団体・分野との連携強化  
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実  
カ：参加費用負担の支援等  
キ：学校施設の活用等  
ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 オ：内容の充実

##### 取組事項

○種目・分野の技術の習得や向上のみを目的とせず、参加者同士の交流を促進し、主体性を育むことを目的に定期的なミーティングを行うほか、レクリエーション的な活動を取り入れたクラブ活動を運営する。

##### 活動の詳細

「地域文化クラブ活動の運営実績 ②各クラブに関すること」参照。

##### 取組の成果

○eスポーツクラブは、普段の活動からも参加者同士の交流が図れており、クラブ内の大会を開催することもある。

○ロボット数学クラブは、ロボット実習の時には、上級生が下級生に教えるなど、異年齢の交流が図れている。

○サイエンスクラブは、年間を通して主体的に自らの研究テーマを設定し活動することを目標とし活動していた。

##### 今後の課題と対応方針

●eスポーツクラブは、クラブ内の大会は開催しているが、対外的な大会に挑戦する機会を提供できていないため、検討していく。

●ロボット数学クラブは、クラブ員が主体的に成果などを披露できる場を提供していくことを検討していく。

●サイエンスクラブは、自らの研究テーマをなかなか設定できないクラブ員がいたため、サポート体制をより充実させていく必要がある。そのため、令和7年度はサポートスタッフを増員して実施していく。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
イ：指導者の質の保障・量の確保  
ウ：関係団体・分野との連携強化  
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実  
**カ：参加費用負担の支援等**  
キ：学校施設の活用等  
ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 カ：参加費用負担の支援等

##### 取組事項

○「いたばし地域クラブ」に参加する困窮世帯に対して、必要な経費の支援を検討する。

##### 取組の成果

○困窮世帯（就学援助認定者）を対象に支援金を支給する制度を検討したが、制度の見直し及び内部調整などが引き続き必要となった。

- ・いたばし地域クラブ（行政による地域クラブ）のみが支援されるべきか、地域展開の環境を整備するうえでは民間の地域クラブに困窮世帯が参加しやすくなる支援の在り方を検討する必要がある。
- ・一方で、地域クラブの定義が曖昧な部分があり、広義で捉えて支援することの是非について、引き続き検討が必要となった。
- ・今後、中学生の受皿となる団体の認証制度など、どの地域クラブに参加する生徒を区が支援していくか基準を設ける必要があるかを検討していく。

##### 今後の課題と対応方針

○現行では、民間の地域クラブについて定義が曖昧であり、支援の対象となる地域クラブとはどのようなものか、もしくは中学生が学校外で何かをする場合は全て地域クラブなのかも含め検討していく。

- 行政による地域クラブではない民間の地域クラブについて、地域クラブの定義を検討していく。
- 同様に、認証制度の検討を開始することで、あるべきガバナンス等についても検討する。
- 上記にあたっては、他自治体の先進事例等も参考にし、今後研究を進めていく。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
イ：指導者の質の保障・量の確保  
ウ：関係団体・分野との連携強化  
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実  
カ：参加費用負担の支援等  
**キ：学校施設の活用等**  
ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 キ：学校施設の活用等

##### 取組事項

○現行部活動の合同部活動化を推進し、学校施設利用の調整を行う。

##### 取組の成果

- 合同部活動化に向けて学校との調整ができず、成果は上げられていない。
- 地域移行の取組・調整を優先して取り組む中で、活動に支障がある状態にもかかわらず合同部活動化できていない部活動もあることがわかった。事情を聞き取りするなかで、学校から主体的に合同部活動化を進めることには限界があることを実感した。
- 学校施設は現在多くが現行の部活動で活用されているが、現状でも活動場所を十分に確保できていないと感じている部活動もある。合同部活動化を進めることで施設の空白時間ができるわけではないことも判明した。

##### 今後の課題と対応方針

- 都市部ではなかなか部活動と地域クラブ活動を並存させながら充実した活動を行える施設数と面積がない。
- 現状の部活動であっても、十分な活動ができていると言い難い部活動も散見され、合同部活動化をすることで必ずしも学校施設が空くわけではない。一方で、合同部活動化しない（できない）ことにより学校施設の問題ではなく、生徒たちの活動が停滞している実態もある。
- 引き続き、学校部活動の実態把握に努め、充実した活動の機会を確保できるような取組を検討する。
- 合同部活動化だけでなく、現行の部活動をいたばし地域クラブへ移行し、その空いた場所を同様に地域クラブの活動場所として利用していく。

### 総括・成果の評価・今後に向けて

#### ●総括

令和5年度より実践研究モデル事業として実施している「いたばし地域クラブ」が2年目となり、地域クラブ活動の運営にあたっての課題を把握し、検討することでノウハウを蓄積できてきた。

しかし、一方で、課題の多くは、解決まで至っていない、今後も検討していく必要がある。

特に、各クラブともに定員を下回っており、区立中学校生徒にヒアリングした際にもまだ認知度が低く、広報活動に力を入れ認知度を上げていく必要があるとともに、地域クラブに入会する利点を生徒が見出せるような工夫を引き続き検討していく必要がある。

また、各クラブともに週1回から2回程度の活動であるため、現行部活動との兼部をしている中学生が多く、部活動の代替、部活動に置き換わる活動にはなれていない。

#### ●成果の評価

行政が運営団体となった地域クラブの活動しての形は、一定程度作りあげることができた。

また、現行部活動との兼部をしている中学生が多いということは、複数種目・分野に取り組めている環境にできているということでもあり、今後も区としてそういった環境を提供していけるよう整備を続けていきたい。

#### ●今後に向けて

現行の部活動を地域クラブに移行するための調整を引き続き検討していく。



### 参加者の声



#### 中学8年生（ロボット数学クラブ）

父がプログラマーなので、いつか自分もプログラミングができるようになって手助けしたいと思い、参加しました。高校生レベルの数式が出てきますが、解けたときはやりがいを感じます。

#### 指導者（ロボット数学クラブ）

チャレンジすることの大切さを教えることができればと思っています。失敗から新たな発見があったり、私たちでは思いつかない柔軟な発想が出ることもあります。子どもたちの柔軟な発想・新しい可能性を否定せず、大切にしたいと心がけています。

【出典：区広報紙での特集】



#### 中学8年生（eスポーツクラブ）

もともとゲームが好きで興味があり、eスポーツクラブに参加しました。専門的なアドバイスやコツを教わり試すことで、あきらめない気持ちが鍛えられました。対戦で勝つとうれしいので、これからも勝てるように頑張っていきたいです。

#### 指導者（eスポーツクラブ）

生徒一人ひとりの性格やプレイスタイル・個性を伸ばしてあげたいと思いながら、丁寧なコミュニケーションを心がけています。

また、ゲームの技術的な操作以外にあいさつ・マナーなども意識して教えるようにしています。仲間との協力やコミュニケーションの大切さが育めるクラブです



# 2.実証内容と成果③

## 広報資料

いたばし地域クラブについては、区の様々な広報媒体で周知を行っている。  
令和6年6月には、板橋区の広報紙で特集が組まれ、令和5年度から実施しているクラブが紹介された。

また、チラシを作成し生徒の参加啓発をするほか、板橋区内の特色ある事業や取組、街の魅力を発信するテレビ番組「魅力発信！いたばしナビ」でも部活動改革の経緯を含め、いたばし地域クラブの取組を紹介している。

板橋区の中学生们が集まれ！  
**いたばし地域クラブ**  
メンバー大募集！！

板橋区では、区立中学校部活動の地域移行に向けて、令和5年度から区内の中学生を対象とした「いたばし地域クラブ」が活動しています。  
随時体験も受け付けています。申込方法など詳細については、下部の二次元コードから区ホームページをご覧ください。

サイエンス  
女子サッカー  
eスポーツ  
ロボット数学

いたばし地域クラブ  
ItabashiRegional Club

お問合せ  
板橋区教育委員会事務局  
教育総務課 部活動改革担当係  
Tel.03-3579-2261

ホームページはこちら

【生徒への参加啓発チラシ】

出典：板橋区ホームページ

広報 ITABASHI 6.8 特集号

ロボット数学  
robot math

女子サッカー  
women's soccer

eスポーツ  
e-sports

「いたばし地域クラブ」本格始動

広報 いたばし 6.8 特集号

夢中になれるを応援する 「いたばし地域クラブ」が活動中!!

いたばし地域クラブは、中学校の部活動に代わる新しい活動の場となることをめざした地域クラブ活動です。eスポーツ・女子サッカー・ロボット数学クラブに、サイエンスクラブが加わり、活動しています。中学生たちは、他校の中学生と新たな人間関係を築き、人とのつながりを感じながら、自分のやりたい活動・分野に挑戦しています。今回は、いたばし地域クラブに所属する中学生・指導員に、やりがいや魅力を伺いました。

なぜ部活動改革が必要なのか？

女子サッカークラブ

ロボット×数学ってすごい

eスポーツクラブ

ゲームだってスポーツだ

「憧れ」から一歩踏み出して

サイエンスクラブが活動開始

興味がある中学生は参加してみよう！

体験入会

「いたばし地域クラブ」が活動中!!

問い合わせ 教育総務課部活動改革担当係 ☎3579-2261

【区広報紙での特集】

出典：板橋区ホームページ

## 2.実証内容と成果④

### 参考資料（活動写真）



【eスポーツクラブ】



【ロボット数学クラブ】



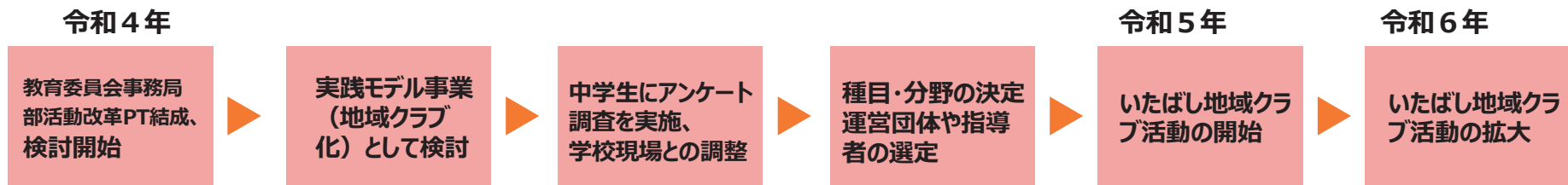
【サイエンスクラブ（通常活動）】



【サイエンスクラブ（企業訪問）】

## 2.実証内容と成果

### 地域文化クラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス



#### ステークホルダー

学校、生徒、保護者、板橋区教育委員会事務局、民間事業者

#### 経過

令和4年度に教育委員会事務局の職員で部活動改革PTを結成し、改革に取り組み始めた。現行の部活動にある種目・分野を地域クラブ化することは、学校及び生徒、保護者への説明も十分でない中では影響が大きいと判断したため、現行の部活動にない種目・分野をモデル事業として取り組んでいくこととした。そのため、種目・分野を決定するにあたり、区立中学校の全生徒にアンケート調査を実施した。

その後、立ち上げるクラブの種目・分野を決定し、運営団体の選定を行い、令和5年度に「いたばし地域クラブ」の地域クラブ活動として、「女子サッカー」「eスポーツ」「ロボット数学」の3クラブの活動を開始した。令和6年度には、さらに「サイエンス」を創設し、活動を拡大した。

#### 実施にあたって生じた主な課題

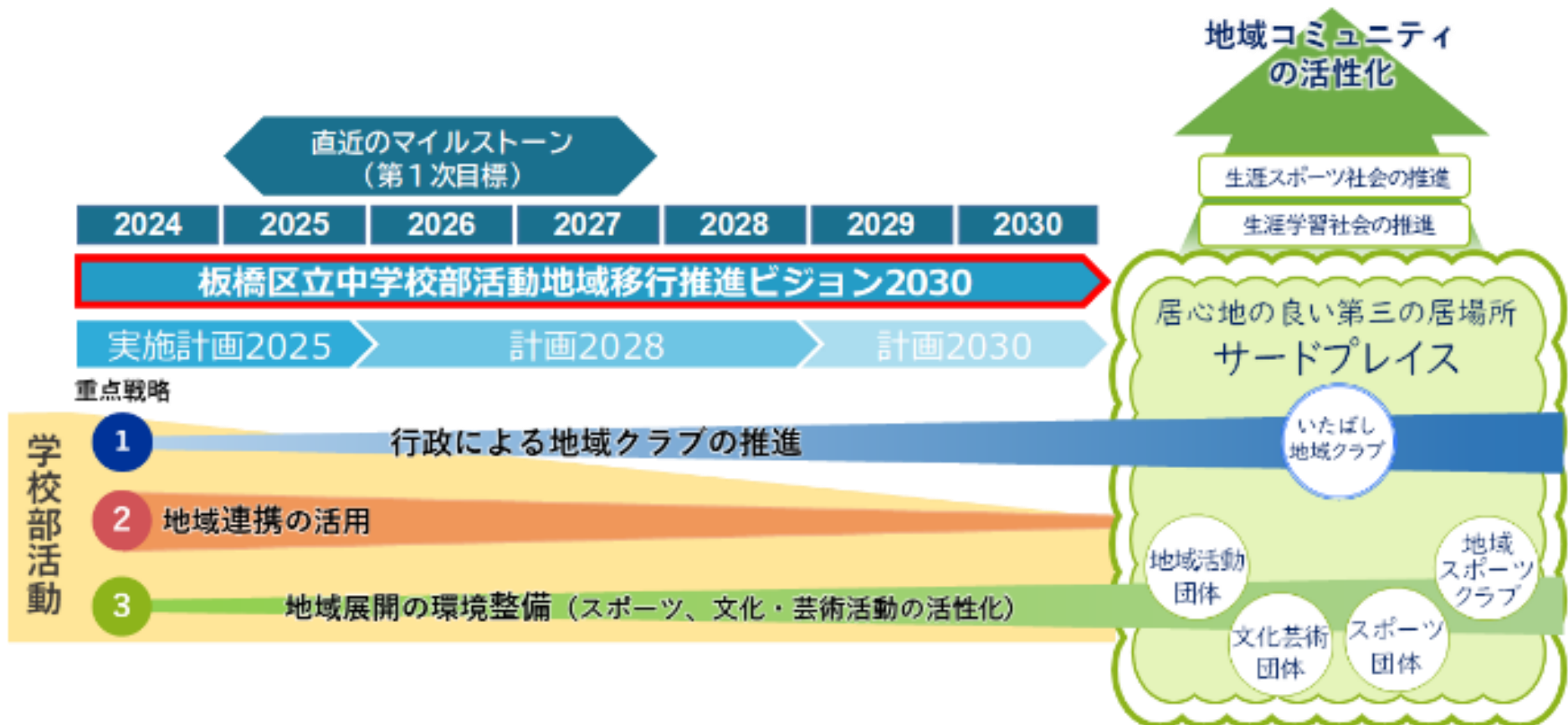
- ・活動場所の確保と選定
- ・指導者の確保
- ・学校現場との調整
- ・会費の設定

#### 今後の展開

令和7年度からは、現行の学校部活動にある種目「野球」の地域クラブ化に取り組んでいく。

# 3. 今後の方向性

## 地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ



出典：板橋区立中学校部活動地域移行推進ビジョン2030